

2025年5月13日

各位

会社名 株式会社 JDSC  
代表者名 代表取締役社長 加藤 聡志  
(コード: 4418、東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 作井 英陽  
(TEL. 03-6773-5348)

## 株式会社ダイフクとのDXに関する戦略的パートナーシップ締結のお知らせ

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、株式会社ダイフク（以下「ダイフク」といいます）とのDXに関する戦略的パートナーシップを締結することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 提携概要

本締結により、AI技術の活用やデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進およびデジタル分野での人材育成を加速し、高度な自動化ソリューションを提供していきます。ダイフクグループは、「モノを動かす技術」であるマテリアルハンドリング（マテハン）システムで物流や生産現場などの社会インフラを支えてきました。そして2030年のありたい姿を定めた長期ビジョン「Driving Innovative Impact 2030」を策定し、食や環境などの新たな領域でも社会課題解決に貢献することを掲げています。この実現にはAIなどの先端技術の活用やDXの推進が不可欠となることから、AI開発やデータ活用によるDX支援実績を多数保有するJDSCと連携します。なお、ダイフクとJDSCは2023年4月から、人材育成などですでに連携を進めています。

詳細につきましては、補足資料「ダイフク×JDSC 戦略的パートナーシップの締結について」をご参照ください。

### 2. 提携先の概要

(1) 名称	株式会社ダイフク
(2) 所在地	大阪府大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 下代 博
(4) 事業内容	物流システムに関するコンサルティングとエンジニアリングおよび設計・製造・据付・サービスなど ・ 搬送システム ・ 保管システム ・ 仕分け・ピッキングシステム ・ 制御システム ・ 物流機器 その他事業（電子機器、洗車機）
(5) 資本金	318億6,530万円（2024年12月31日現在）
(6) 設立年月	1937年5月20日

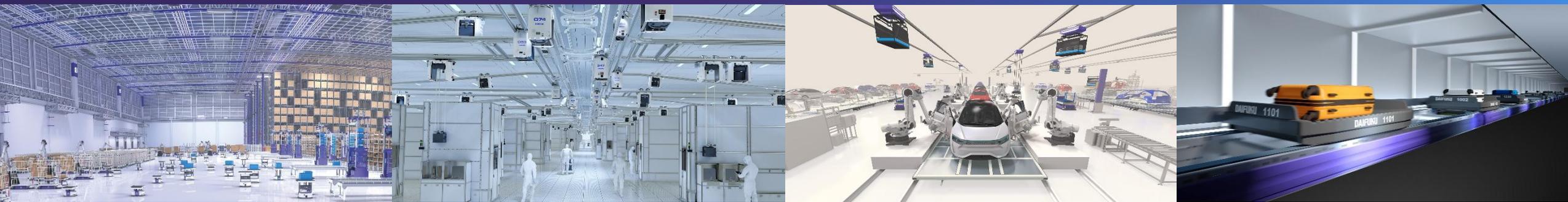
### 3. 今後の見通し

本件による当期業績への影響は軽微です。戦略的パートナーシップの具体的進捗に関して開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

# ダイフク × JDSC

## 戦略的パートナーシップの締結について（補足資料）



**DAIFUKU** **JDSC**

2025年5月13日

## DAIFUKU



## JDSC

「モノを動かす」技術で

- 物流や生産現場などの社会インフラを支える
- 食や環境などの新たな領域で社会課題解決へ貢献する

ミッション  
ビジョン

- 製造、物流といった基幹産業を中心に、社会課題や産業共通課題の解決による日本のUPGRADEに貢献

- マテハンのリーディングカンパニーとしての豊富な知見・製品・ソリューションと課題解決ノウハウ

知見  
強み

- DX・データ活用・AIに関する豊富な技術知見
- 大手企業との協業で産業全体を変革するビジネスモデル

物流や生産現場の変革を通じた産業全体の革新・UPGRADE

## 全社横断プロジェクト

先端技術戦略  
立案・推進

AI開発・推進

人材育成

## JDSCとの協働（2023年以降）

### 現場の思考と行動を引き出す変革 共創の推進

ダイフクのCTOや100名を超える社員、そして、JDSCのコンサルタント、データサイエンティスト、開発エンジニア、物流・製造エキスパートが一丸となり、計600回以上の議論を通しダイフクの変革に必要な取り組みを探索・実行

### 変革のコアとなる組織基盤づくり

総額800億円の戦略投資も活用し、現場社員が主導する各プロジェクトを通じて、自ら変革を起こすためのマインドセットやAI・機械学習などの活用手法を体得（共同開発）、D-AdaptプログラムによるDX人材育成

## これまでの成果

長期ビジョンのありたい姿と  
中期経営計画の目標の実現に  
向けた、重点課題の抽出

全社共通課題の解決に向けた、  
要素技術開発  
(類似障害情報検索・  
AIチャットボットなど)

国内全4拠点、  
合計70名に向けた  
データサイエンティスト基礎  
スキル獲得カリキュラムを  
実施

変革に必要な  
全社的な  
機運の醸成

## 全社横断プロジェクト

## 成果を創出する具体的な取り組み

## 目指す姿

先端技術戦略  
立案・推進



①

先端技術戦略の  
立案・推進および  
実現手段の進化



オープンイノベーションなども  
活用した革新的な新技術  
の開発・実装

AI開発・推進



②

革新的な  
マテハンシステムの  
開発に向けた協働



スマートファクトリー、サステ  
ナブルマニュファクチャリング  
などの実現を支えるソリュー  
ション提供（デジタルツイン、  
ロボティクス、AIなど）

人材育成



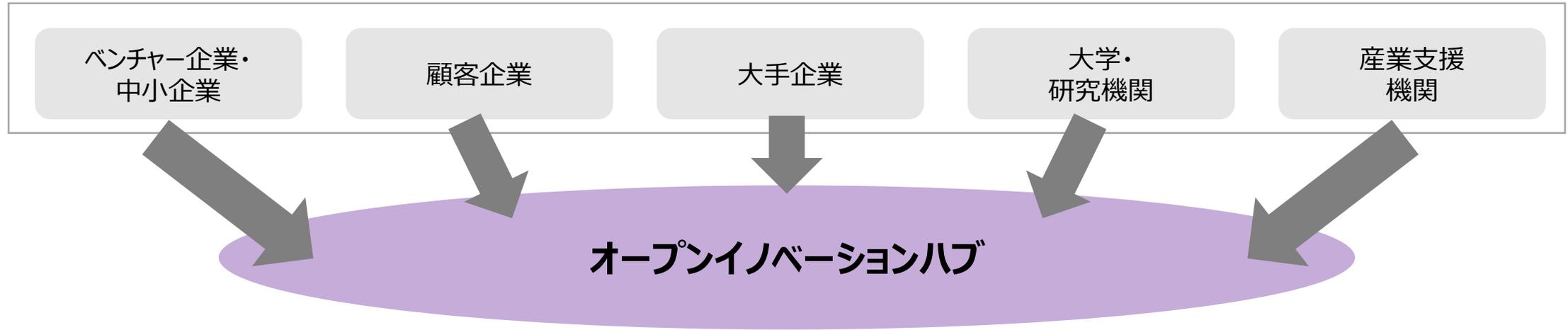
④

データ活用人材育成  
プログラム  
「D-Adapt」の  
推進と更なる進化



DXを推進するための  
ケイパビリティを備えた人材  
の育成・強化

物流や生産現場の  
変革を通じた  
産業全体の  
革新・UPGRADE



**DAIFUKU**

物流・製造領域における技術・研究開発能力

顧客との信頼関係を基盤とした、  
技術の社会実装力

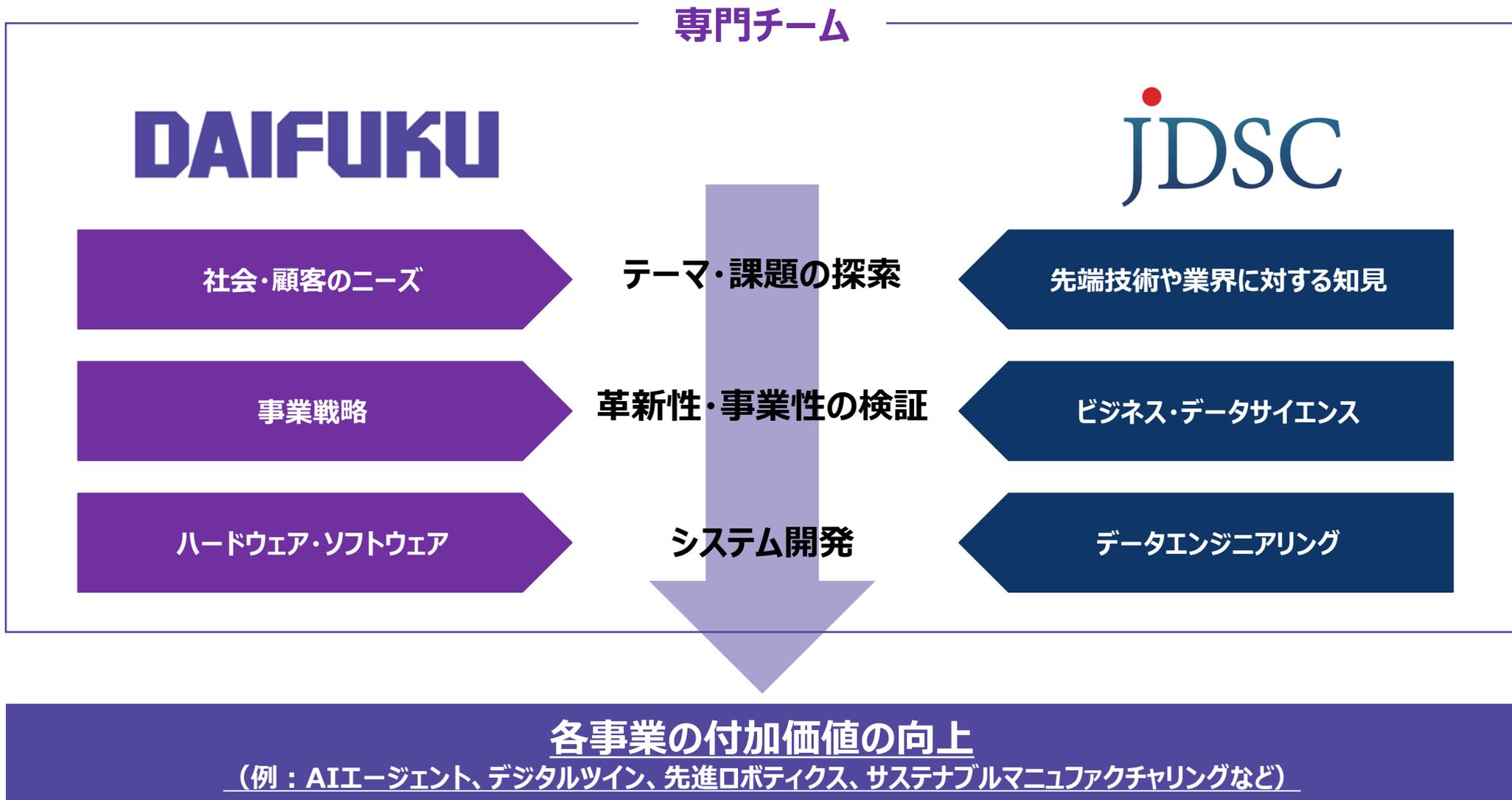
**JDSC**

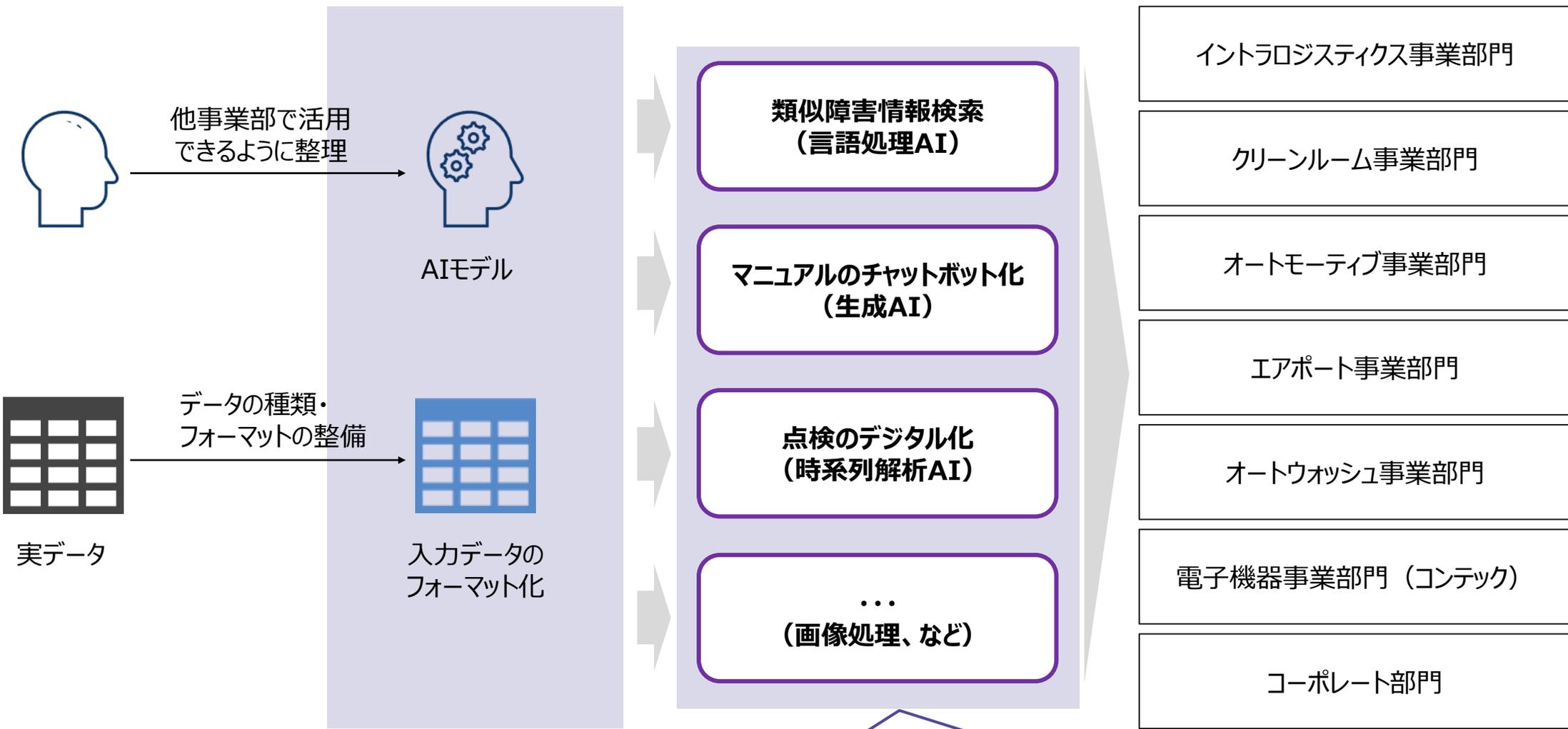
DX・データ活用・AIに関する豊富な技術知見

業界主要企業や産業全体をUPGRADEしていく  
ノウハウ

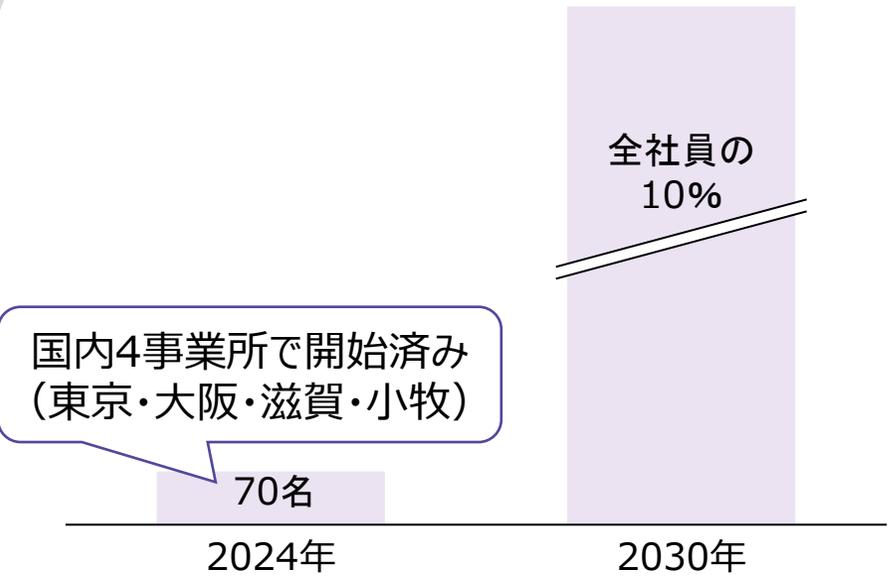
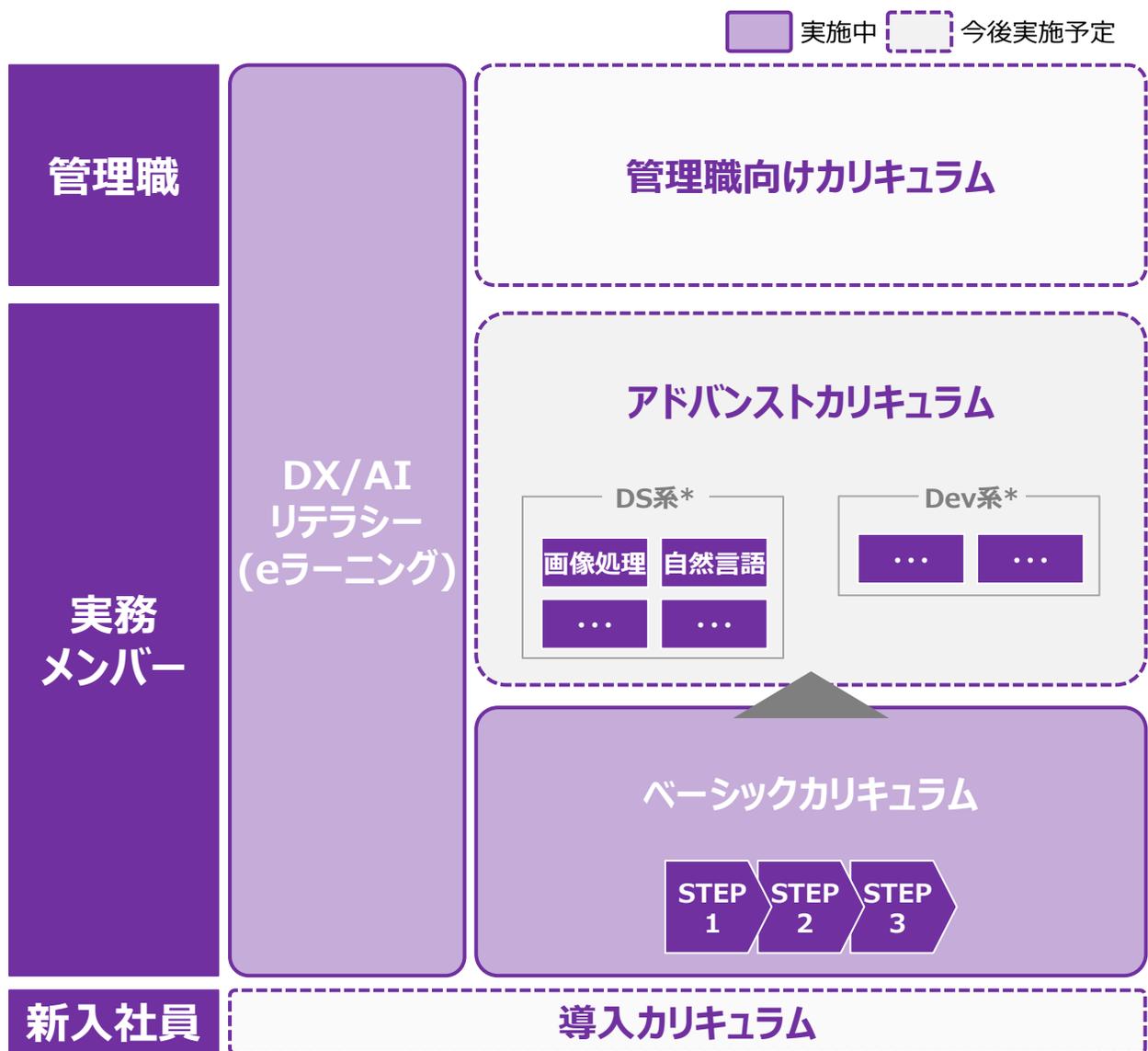
研究開発を加速・推進

ダイフクが目指す、物流や生産現場の変革に資する新技術などの開発





ダイフクグループ社内の業務高度化・効率化に向けて JDSCの技術力でバックアップし、実現



\*DS : Data Scientist  
\*Dev : Development(アプリ化実装技術)

**DAIFUKU**

**JDSC**